

第15期

中間事業報告書

平成15年7月1日～  
平成15年12月31日

# 会社紹介

「変 化」

「スピード」

「元 気」

## CONTENTS

- |               |            |
|---------------|------------|
| 01●会社紹介       | 06●決算ハイライト |
| 02●株主の皆様へ     | 07●トピックス   |
| 03●中間財務諸表(連結) | 09●株式の概況   |
| 05●中間財務諸表(単体) | 10●会社の概況   |

## ●●● 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度当社は第15期中間期（平成15年7月1日から平成15年12月31日まで）を終了致しましたので、ここに中間事業報告書をお届け致します。

今中間期の移動体通信業界では、各事業者は独自のサービスを開始し、事業者間の競争はますます激化しております。

このような業界環境の中、移動体通信サービス事業におきましては、社員の販売スキルの向上、並びに各事業者の新サービス導入により販売台数は順調に推移致しました。

不動産賃貸事業におきましては、引続き安定的な収益を確保・維持しており、順調に業績は推移しております。

高齢者介護事業におきましては、神奈川県横浜市に当社独自のコンセプトに基づく高齢者介護施設「フローラあざみ野」を平成16年4月1日開設に向けて建築中であり同年2月から入居者募集も開始する所存であります。「入居者とそのご家族に喜んでいただける施設を」、というコンセプトのもとに計画は順調に推移しております。

中華人民共和国にて展開しております医療器械事業につきましては、本格的な営業開始から1年が経過致しました。現在に至るまでに、新型肺炎SARSの影響など営業活動への支障が発生いたしましたが、その間、経営の効率化を目的としたリストラクチャリングなどを実施し

てまいりました。今後も引続き研究開発活動に注力し、製品の品質向上に努め、販売シェアの拡大に向けて努力する所存であります。

当社は平成15年12月31日をもちまして、1：10の株式分割を実施いたしました。

今後も、当社グループ全体の収益拡大による継続的な成長と企業価値・株主価値の最大化を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年3月



代表取締役社長 青山 洋一

# ●●● 中間財務諸表(連結)

## 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期	前期
	平成15年12月31日現在	平成15年6月30日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,210,085	1,794,833
売掛金	560,931	481,132
棚卸資産	244,334	152,125
その他	78,282	88,022
貸倒引当金	△ 5,887	△ 3,676
<b>流動資産合計</b>	<b>2,087,747</b>	<b>2,512,438</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	688,092	568,151
土地	1,078,066	898,814
その他	272,319	82,902
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,038,479</b>	<b>1,549,867</b>
<b>無形固定資産</b>		
連結調整勘定	295,909	281,310
その他	50,987	43,060
<b>無形固定資産合計</b>	<b>346,896</b>	<b>324,370</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	753,709	758,158
繰延税金資産	570,888	567,828
敷金	426,717	395,290
その他	356,927	391,555
貸倒引当金	△ 4,912	△ 10,648
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>2,103,331</b>	<b>2,102,184</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>4,488,707</b>	<b>3,976,422</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,576,454</b>	<b>6,488,860</b>

科目	当中間期	前期
	平成15年12月31日現在	平成15年6月30日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	419,882	281,415
短期借入金	503,214	717,316
1年内返済予定長期借入金	104,400	251,900
賞与引当金	6,586	6,621
その他	282,160	241,625
<b>流動負債合計</b>	<b>1,316,242</b>	<b>1,498,877</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	794,300	543,500
役員退職慰勞引当金	131,560	128,700
その他	103,780	98,685
<b>固定負債合計</b>	<b>1,029,640</b>	<b>770,885</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,345,883</b>	<b>2,269,763</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	42,012	49,402
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,822,064</b>	<b>1,811,700</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,695,264</b>	<b>1,684,900</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>671,745</b>	<b>658,654</b>
その他有価証券評価差額金	3,803	13,927
為替換算調整勘定	△ 4,024	706
自己株式	△ 294	△ 192
<b>資本合計</b>	<b>4,188,558</b>	<b>4,169,695</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>6,576,454</b>	<b>6,488,860</b>

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	平成15年7月1日から 平成15年12月31日まで	平成14年7月1日から 平成14年12月31日まで
売上高	2,960,564	3,099,744
売上原価	2,124,665	2,222,147
売上総利益	835,898	877,597
販売費及び一般管理費	689,120	685,240
営業利益	146,778	192,356
営業外収益	8,293	25,190
受取利息	917	1,304
受取配当金	846	522
受取協力金	1,744	4,049
店舗関連売却収入	—	11,460
その他	4,785	7,851
営業外費用	60,476	46,355
支払利息	16,665	8,859
投資事業組合投資損失	15,129	18,030
持分法による投資損失	6,087	7,893
為替差損	19,901	5,625
その他	2,693	5,947
経常利益	94,595	171,190
特別利益	9,213	4,658
投資有価証券売却益	7,924	—
その他	1,289	4,658
特別損失	3,090	145,137
投資有価証券売却損	—	101,206
投資有価証券評価損	—	6,200
リース解約損	—	8,909
貸倒損失	—	17,771
その他	3,090	11,049
税金等調整前中間純利益	100,718	30,711
法人税、住民税及び事業税	22,385	16,048
法人税等調整額	36,001	12,739
少数株主損失	2,150	—
中間純利益	44,483	1,923

## 中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	平成15年7月1日から 平成15年12月31日まで	平成14年7月1日から 平成14年12月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	1,684,900	2,584,900
資本剰余金増加高	10,364	—
資本剰余金減少高		
資本準備金取崩による資本剰余金減少高	—	900,000
資本剰余金中間期末残高	1,695,264	1,684,900
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	658,654	△264,986
利益剰余金増加高		
中間純利益	44,483	1,923
資本準備金取崩による利益剰余金増加高	—	900,000
連結子会社清算に伴う利益剰余金増加高	—	22,749
利益剰余金減少高		
配当金	31,391	—
利益剰余金中間期末残高	671,745	659,685

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	平成15年7月1日から 平成15年12月31日まで	平成14年7月1日から 平成14年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	220,579	210,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232,762	△111,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569,778	62,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,785	—
現金及び現金同等物の増減額	△584,747	162,259
現金及び現金同等物の期首残高	1,794,833	1,419,112
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,210,085	1,581,372

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# ●●● 中間財務諸表(単体)

## 単体中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期	前期
	平成15年12月31日現在	平成15年6月30日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>1,493,260</b>	<b>2,089,222</b>
現金及び預金	873,400	1,515,189
売掛金	351,617	285,141
商品	57,231	36,779
その他	211,010	252,112
<b>固定資産</b>	<b>4,260,127</b>	<b>4,046,597</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,638,764</b>	<b>1,460,313</b>
建物	524,928	544,859
土地	215,022	16,640
その他	898,814	898,814
<b>無形固定資産</b>	<b>17,388</b>	<b>18,668</b>
ソフトウェア	4,720	6,000
電話加入権	12,668	12,668
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,603,974</b>	<b>2,567,613</b>
投資有価証券	1,194,172	1,092,533
出資金	493,565	516,337
繰延税金資産	555,861	567,828
敷金	207,626	211,466
その他	157,660	190,097
貸倒引当金	△ 4,912	△ 10,648
<b>資産合計</b>	<b>5,753,387</b>	<b>6,135,819</b>

科目	当中間期	前期
	平成15年12月31日現在	平成15年6月30日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>572,676</b>	<b>1,133,024</b>
買掛金	275,760	187,778
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定長期借入金	74,400	251,900
未払金	101,228	84,861
その他	121,287	108,484
<b>固定負債</b>	<b>902,667</b>	<b>770,885</b>
長期借入金	684,300	543,500
役員退職慰労引当金	131,560	128,700
その他	86,807	98,685
<b>負債合計</b>	<b>1,475,344</b>	<b>1,903,910</b>
<b>資本の部</b>		
資本金	1,822,064	1,811,700
資本剰余金	1,695,264	1,684,900
利益剰余金	757,205	721,573
株式等評価差額金	3,803	13,927
自己株式	△ 294	△ 192
<b>資本合計</b>	<b>4,278,043</b>	<b>4,231,909</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>5,753,387</b>	<b>6,135,819</b>

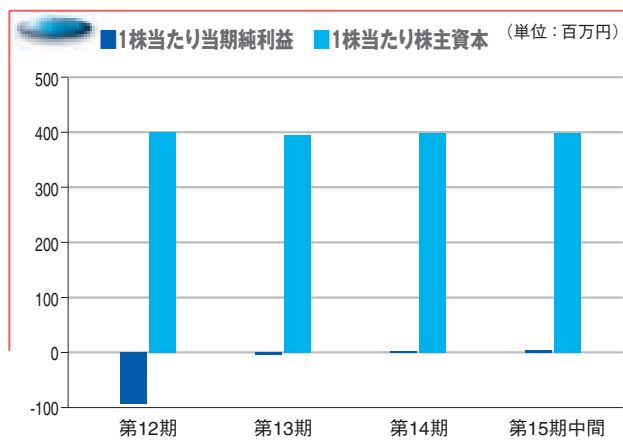
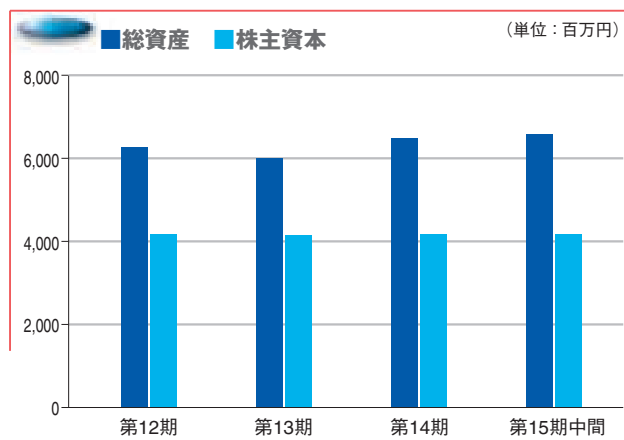
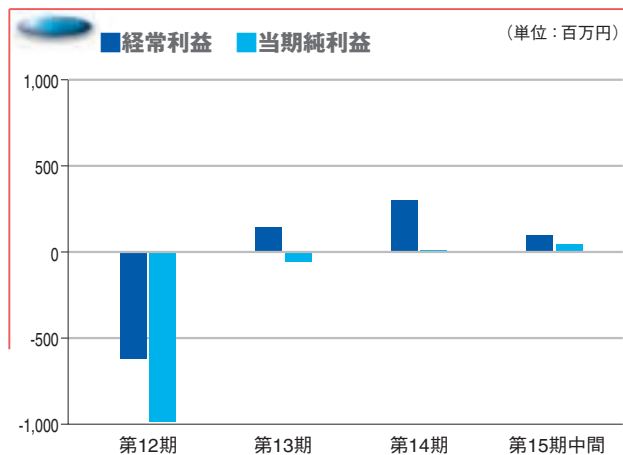
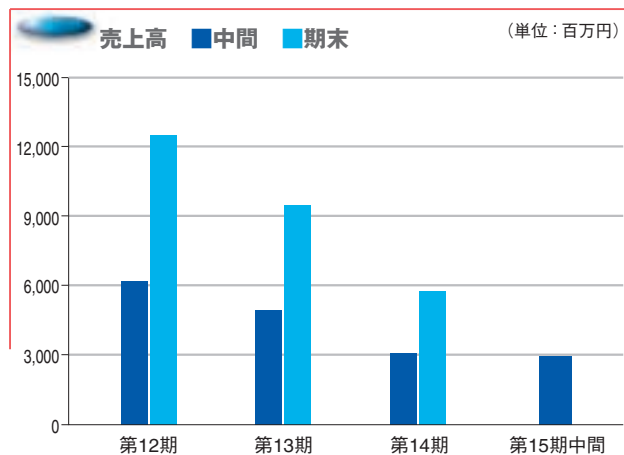
## 単体中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	平成15年7月1日から平成15年12月31日まで	平成14年7月1日から平成14年12月31日まで
営業収益	1,933,577	2,313,324
営業費用	1,757,287	2,131,643
<b>営業利益</b>	<b>176,290</b>	<b>181,680</b>
営業外収益	4,746	20,616
営業外費用	48,307	38,427
<b>経常利益</b>	<b>132,729</b>	<b>163,869</b>
特別利益	9,192	4,658
特別損失	3,090	136,665
<b>税引前中間(当期)純利益</b>	<b>138,831</b>	<b>31,862</b>
法人税、住民税及び事業税	47,945	10,170
法人税等調整額	23,863	5,717
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>67,023</b>	<b>15,974</b>
前期繰越利益	53,332	—
前期繰越損失	—	52,766
<b>中間未処分利益</b>	<b>120,355</b>	<b>—</b>
中間(当期)未処理損失	—	36,791

# ●●● 決算ハイライト (連結)

# FINANCIAL HIGHLIGHTS



豊かに年齢を重ねることのできる次世代の社会を紡ぐため  
介護付有料老人ホーム「フローラあざみ野」を、ビガーグループが提案しました。  
大切な人のための、心地いい生活空間がそこにあります。

# 潤

自然の穏やかさと  
最新技術・機器の融和で、  
心潤う空間をめざしました。



エントランス



吹き抜け

## ■地下1階は、眺めのいい浴室とリハビリのフロア

このフロアは、中庭に面して「浴室」と「リハビリのための機能訓練室」が並んでいます。「浴室」からは滝が流れ落ちる中庭の風情が楽しめ、「機能訓練室」では緑を眺めながらリラックスしてリハビリができます。

## ■1階フロアには、広々としたエントランス

ご家族やお友達をお迎えするエントランスホールは、吹き抜けからの光と中庭の緑に彩られた、心落ち着く空間。医師や看護師が常駐するクリニック、健康管理室、フロントオフィスなどもこの階にあります。

## ■1階～5階は、ゆったりとした居室フロア

各階とも明るく大きな吹き抜けを中心に、居室、リビング・ダイニングが並んでいます。居室は、すべて個室。大きな窓のある、約20㎡のゆとりの広さです。

## ■屋上は、展望と散歩が楽しめる空間

花が咲き、木々が茂る、緑豊かな庭園となっています。周囲に広がる公園の美しさも屋上から楽しめます。

# 寛

安心・安全への配慮を  
徹底させ、寛ぎのプライベート  
空間を実現しました。



個室俯瞰図



ベッド

## ■昼夜24時間の介護・医療体制と防災システムを確立

介護は安心の24時間体制。各フロアの詰所に専門の介護スタッフが常駐し、各部屋を巡回しています。さらにベッドサイドとトイレにナースコールを設置し、万全を図っています。また、施設内に医師・看護師が24時間常駐しているので、緊急時の対応も迅速です。防災対策にも万全を期し、スプリンクラーや非常時の放送用スピーカーなどを各室に設置しています。

## ■日々の寛ぎをサポートする快適な室内設備

居室はすべて個室タイプ。一般的な介護施設をはるかに超える約20㎡のゆとりの室内に、専用のトイレと洗面台、落ち着いた調度品を揃えています。また、室内の空気をきれいに保ちながら、最適湿度を維持する設備を採用し、最善を尽くしています。

## ■室内設備一覧

ベッド・マットレス・寝具・照明・エアコン・家具（テーブル、椅子×2、チェスト、ワードローブ）・収納棚・カーテン・21インチTV・有線放送・コンセント・ナースコール（2カ所）・防災設備（スプリンクラー、熱感知器、非常時の放送用スピーカー）・トイレ・洗面所・LAN端子



# 癒

最高水準の介護・医療体制で、安心できる快適な日々を提供しています。



クリニック

## ■充実のスタッフ数と最新技術で、最高の介護・医療サービスを実現

介護保険法の人員基準をはるかに超え、1.8人のご入居者に対し介護・看護スタッフ1人を配置。しかも、介護福祉士やホームヘルパーとしての資格・実績のある人をスタッフとして採用し、介護の質を高めています。さらに、独自の施設運営ソフト（介護・看護・管理）を開発。このソフトを搭載したPDA（携帯型情報機器）を導入し、介護スタッフ・医師・看護師それぞれがご入居者の正確な健康情報を共有できるようにし、最高の医療・介護サービスの提供を実現しました。



PDA

# 和

食を味わい、人と集い、四季を楽しむ和みの空間でもあります。



リビング・ダイニング

## ■変化に富んだ日々のお食事メニューをご用意

「食事」を楽しむことは、暮らしを楽しむ第一歩と考え、心を尽くしています。彩りや食感、栄養バランス、味わいはもちろんのこと、おいしい温度にも細心の注意を払い、保温・保冷ができる最新のIHカートを採用。ご入居者のお好みに合わせた温度に調整し、暖かい膳は暖かく、冷菓子などは適度なヒンヤリ温度にして、ご家庭と同じおいしさを日々お届けしています。



メニュー例/和食



イベント食

## ■四季折々の楽しいイベントも多彩

四季折々の移ろいを楽しみながら、ご入居者同士のコミュニケーションを豊かに育んでいただけるよう、春夏秋冬それぞれの季節に合わせた歳事を各種予定しています。

# 安

入浴のひとときも、心から安らげる快適さにこだわりました。



浴室

## ■「露天風呂」気分を満喫できる浴室を設計

心身をリフレッシュし、血行を促進させる入浴を存分に楽しんでいただけるようにと浴室を設計しました。大きな窓からは日差しが注ぎ、そして滝の流れる中庭を眺めながらお湯に浸かれるので、まさに「露天風呂」気分。心ゆくまで楽しめます。

## ■車椅子・寝たきりの方にも入浴を楽しんでいただけるシステムを採用

最新機器の導入により「座ったまま」や「寝たまま」の状態、ゆったりと会話を楽しみながら湯船に浸かれるようになりました。

ストレッチャー使用例



車椅子使用例



# 株式の概況 (平成15年12月31日現在)

## 株式の状況

会社が発行する株式の総数 40,000株  
 発行済株式の総数 10,549.4株  
 当中間期末株主数 1,101人

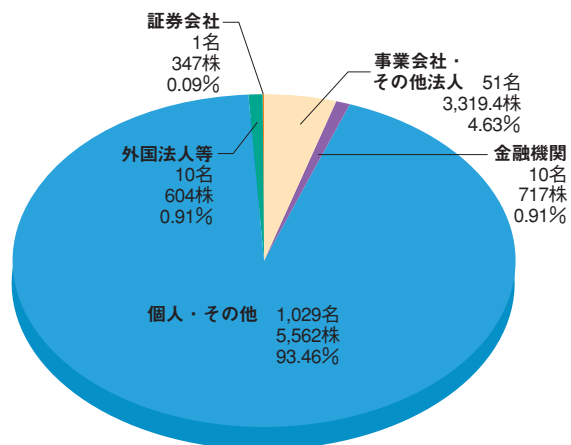
## 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
有限会社 山 洋	2,871株	27.21%
青 山 洋	2,097株	19.88%
青 山 和 男	419.2株	3.97%
みずほ証券株式会社	347株	3.29%
青 山 良 子	308株	2.92%
エムエルビーエフエスカस्टディー	285株	2.70%
株式会社山陰合同銀行	250株	2.37%
株式会社広島銀行	213株	2.02%
大 石 健 二	200株	1.90%
ゴールドマンサックスインターナショナル	124株	1.14%

## 重要な子会社の状況

会社名	資本金	議決権比率	主要な事業内容
株式会社ブイ・スリー	300,000千円	100.0%	携帯電話、移動体通信事業の代理店
株式会社ビガーグループ	10,000千円	100.0%	高齢者介護サービス
株式会社 エスト	29,000千円	100.0%	不動産賃貸業、小売・レンタル事業等
維科医療器械(蘇州)有限公司	1,000,000US\$	51.0%	PTCAカテーテル分野を中心とした先進医療器械の開発、製造及び販売

## 所有者別株式分布状況



# ●●● 会社の概況 (平成15年12月31日現在)

## 会社概要

1. 設 立 平成2年4月
2. 資 本 金 1,822,064,550円
3. 主要な事業内容
  - (1) 持株会社経営
  - (2) 携帯電話、PHS等移動体通信事業の代理店業務
  - (3) 携帯電話、PHS等通信機器の販売
  - (4) 不動産賃貸事業
4. 事 業 所

事業所	所在地
本 社	東京都中央区

## 5. 従業員の状況

区 分	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男 性	40名	△2名	29.0歳	3.2年
女 性	37名	1名	24.3歳	1.8年
計または平均	77名	△1名	26.6歳	2.5年

## 役 員

代表取締役社長	青 山 洋 一
専務取締役	金 子 寛 児
取 締 役	依 田 英一郎
取 締 役	勝 部 日出男
常勤監査役	佐 藤 好 男
監 査 役	中 村 寿 夫
監 査 役	生田目 崇

## 株主メモ

- ・決算期 6月30日
- ・定時株主総会 9月下旬
- ・同総会議決権行使株主確定日 6月30日
- ・利益配当金支払株主確定日 6月30日
- ・中間配当金支払株主確定日 12月31日
- ・公告掲載新聞 日本経済新聞
- ・名義書換代理人 〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 〒171-8508  
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-707-696(フリーダイヤル)

### お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。



ホームページアドレス  
<http://www.big-group.co.jp/>



株式会社ビーアイジーグループ

本社 〒104-0031 東京都中央区京橋2-7-14 ビュレックス京橋

TEL (03) 5524-2720 (代)



環境に配慮した「大豆油インキ」  
を使用しています



古紙配合率100%再生紙